

平成30年度 事業計画

[本年度の目標]

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るとともに社会との接点を広げ、学術研究の成果として得られる情報を学会内で学の立場から統合・整理・発展させ、かつ広く社会に発信していく活動を充実させるため、以下の各種事業を行う。また、水産学若手の会委員会を通じて若手研究者の活動を積極的に支援する。

1. 役員会・組織運営等に関する事項

(1) 総会

a) 定時社員総会は、定款第13条に基づき、平成30年3月28日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

(2) 理事会

a) 通常理事会は、定款第29条及び理事会運営規程第2条2項に基づき、7回開催する。また、理事会運営規程第2条3項による臨時理事会は随時開催する。

(3) 支部

a) 北海道支部

支部総会を年1回(開催日未定)、支部幹事会を年1回(開催日未定)開催する。

b) 東北支部

支部総会を年1回(平成31年2月予定)、支部連絡調整員会議を年1回(平成30年6月予定)、支部幹事会を年2回(平成30年6月及び平成31年2月予定)、支部幹事・支部連絡調整員合同会議を年1回(平成30年10月予定)開催する。

c) 関東支部

支部幹事会を年1回(平成30年6月予定)開催する。

d) 中部支部

支部総会を年1回(開催日未定)、支部幹事会を年1回(開催日未定)開催する。

e) 近畿支部

支部幹事会を年2回(平成30年7月及び12月予定)開催する。

f) 中国・四国支部

支部総会を年1回(開催日未定)、支部幹事会を年1回(開催日未定)開催する。

g) 九州支部

支部総会を年1回(開催日未定)、支部幹事会を年1回(開催日未定)開催する。

(4) 委員会

a) 編集委員会

学会誌の編集方針、報文の原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と審査に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年4回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月1回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞候補者及び日本農学賞その他の受賞候補者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目及び企画責任者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

e) 出版委員会

学術図書の出版企画、出版社との契約事項等を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

f) 水産環境保全委員会

水産環境の保全に関連する諸事項について審議し、シンポジウム、講演会の企画・開催等に関連する業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

g) 漁業懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

h) 水産利用懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年3回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

i) 水産増殖懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

j) 国際交流委員会

国際交流に関する諸事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

k) 選挙管理委員会

理事及び監事の候補者の選挙、学会賞選考委員の選挙ならびに役員の欠員のための補欠の候補者の選挙に関する審議、業務を行うため、必要に応じて随時開催する。

l) 水産教育推進委員会

水産教育に係る事項について審議し、理事会の承認を得て行う事業を実施するため、年4回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

m) 水産技術誌監修委員会

水産分野の技術者、研究者、事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し、定期的に刊行する和文誌「水産技術」について、編集の方針を提示し、編集の監督を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

n) 水産政策委員会

会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し、理事会に答申するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

o) 男女共同参画推進委員会

本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

p) 水産学若手の会委員会

水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

[公益目的事業 1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため、以下の事業を行う。

2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第4条1項1号に定める事業）

(1) 研究発表会

a) 春季大会：平成30年3月26日～3月30日

於東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）

大会委員長 渡邊良朗

研究発表 口頭、ポスター

高校生によるポスター発表

シンポジウム 2件、ミニシンポジウム 2件

平成29年度学会賞受賞者講演12題

b) 秋季大会：平成30年9月15日～9月18日

於広島大学生物生産学部（広島県東広島市）

大会委員長 南 卓志

研究発表 口頭、ポスター

(2) シンポジウム

春季大会開催時（平成30年3月26日、於東京海洋大学品川キャンパス）

a) 「マアナゴ生活史研究の最前線と資源管理」

企画責任者：望岡典隆・片山知史・黒木洋明・東海 正

b) 「環境変動下におけるサケの持続可能な資源管理」

企画責任者：荒木仁志・宮下和士・永田光博・佐々木義隆・浦和茂彦
秋季大会開催時（平成30年9月15日，18日，於広島大学生物生産学部）
数件を開催予定

(3) ミニシンポジウム

春季大会開催時（平成30年3月30日，於東京海洋大学品川キャンパス）

a) 「タイラギ種苗生産技術の最新動向と養殖産業の創出に向けて」

企画責任者：兼松正衛・大橋智志・淡路雅彦

b) 「三陸サケ回帰率向上のための放流技術の開発」

企画責任者：堀井豊充・黒川忠英・向井 徹・山田雄一郎・二階堂英城・八谷三和・澤田浩一

秋季大会開催時（平成30年9月15日，18日，於広島大学生物生産学部）
数件を開催予定

(4) 各支部が行う研究発表会及び講演会

a) 北海道支部

支部大会の開催（一般講演，シンポジウム，若手の企画講演会，開催日未定）

b) 東北支部

支部大会の開催（ミニシンポジウム，研究発表，平成30年10月予定）

支部例会の開催（講演会，平成31年2月予定）

c) 中部支部

支部大会の開催（研究発表，ポスター発表（あるいは講演会），開催日未定）

d) 近畿支部

支部前期例会の開催（平成30年7月予定）

支部後期例会の開催（平成30年12月予定）

e) 中国・四国支部

支部例会の開催（開催日未定）

f) 九州支部

支部大会・例会の開催（研究発表，高校生による研究発表，公開シンポジウム，開催日未定）

若手交流会の開催（開催日未定）

(5) 各委員会が行う研究発表会及び講演会

a) 理事会

シンポジウム「日本水産学会のこれから - 課題と展望」の開催（平成30年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）

b) 編集委員会

セミナー「Fisheries Science 論文投稿セミナー」の開催

（平成30年3月27日（日本語）・29日（英語），於東京海洋大学品川キャンパス）

c) 企画広報委員会

水産に関する勉強会の開催（開催日未定）

d) 水産環境保全委員会

シンポジウム「貝類の適正養殖 - 現状と将来への展望」の開催

（平成30年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）

沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの開催（開催日未定）

研究会の開催（平成30年9月予定，於広島大学生物生産学部）

e) 漁業懇話会委員会

第70回講演会「沿岸漁業の季節変動に対応する漁業技術とは？」の開催

（平成30年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）

第71回講演会（平成30年9月15日，於広島大学生物生産学部）

漁業懇話会報の発行

f) 水産利用懇話会委員会

平成30年度第1回講演会の開催（開催日未定）

平成30年度第2回講演会の開催（開催日未定）

g) 水産増殖懇話会委員会

平成30年度第1回講演会「内水面漁業の現状と課題：漁場環境の再生に向けて」の開催

(平成30年3月30日, 於東京海洋大学品川キャンパス)
平成30年度第2回講演会の開催(平成30年9月予定, 於広島大学生物生産学部)

h) 国際交流委員会

講演会の開催(平成30年3月予定, 於東京海洋大学品川キャンパス)

i) 水産教育推進委員会

勉強会「水産・海洋系高校校長協会との勉強会(情報交換会)の開催

(平成30年3月26日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

j) 水産政策委員会

水産物エコラベルに関する勉強会(開催日未定)

漁業関連国際条約に関する情報収集

k) 男女共同参画推進委員会

談話会(ランチョンセミナー)「第3回水産学会におけるやさしい男女共同参画」

(平成30年3月29日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

l) 水産学若手の会委員会

ナイトポスターセッション(平成30年3月27日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

シンポジウム「若手研究者による瀬戸内海研究(仮)」(平成30年9月予定, 於広島大学生物生産学部)

実用的・キャリア形成に関するセミナー(開催日未定)

m) その他

(6) 日本水産学会創立85周年に係る事業

a) 日本水産学会創立85周年記念事業委員会の審議に基づく活動を行う。

3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業(定款第4条1項3号に定める事業)

(1) 関連学会等との連携及び協力

a) 第20回マリンバイオテクノロジー学会大会の協賛

主催 マリンバイオテクノロジー学会, 協賛 化学工学会 他21学協会

平成30年5月26日・27日, 於フェニックス・シーガイア・リゾート・コンベンションセンター(宮崎県宮崎市)

b) OCEANS'18 MTS / IEEE Kobe / Techno-Ocean 2018 の協賛

主催 The Consortium of the Japanese organization for OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018, IEEE/Oceanic Engineering Society, Marine Technology Society, 協賛 日本海水学会 他72団体

平成30年5月28日~31日, 於神戸コンベンションセンター(兵庫県神戸市)

c) The 16th International Echinoderm Conference の後援

主催 第16回国際棘皮動物会議組織委員会, 共催 名古屋大学博物館, 後援 日本動物学会, 日本古生物学会

平成30年5月28日~6月1日, 於名古屋大学東山キャンパス野依記念学术交流館(愛知県名古屋市)

d) 第55回アイソトープ・放射線研究発表会の後援

主催 日本アイソトープ協会, 協賛 応用物理学会 他61学協会

平成30年7月4日~6日, 於東京大学弥生講堂(東京都文京区)

e) 第17回世界湖沼会議の後援

主催 茨城県, 国際湖沼環境委員会, 後援 日本水環境学会 他62団体

平成30年10月15日~19日, 於つくば国際会議場(茨城県つくば市)

f) 第16回国際航法学会世界大会の協賛

主催 日本航海学会, 協賛 宇宙航空研究開発機構 他48団体

平成30年11月28日~12月1日, 於幕張メッセ(千葉県千葉市)

g) その他, 関連学会等が主催する講演会等の共催, 協賛, 後援

(2) 日本学術会議が行う事業への協力

(3) 日本農学会が行う事業への協力

(4) (公財)農学会が行う事業への協力

a) 技術者教育推進委員会委員の派遣

(5) (公社)日本技術士会CPD(継続研鑽)行事参加票の配布

(6) 水産・海洋科学研究連絡協議会への参加及び代表の派遣

(7) 海外との学术交流等

- a) 平成 30 年度公益社団法人日本水産学会春季大会へアメリカ水産学会，イギリス諸島水産学会，韓国水産科学会及び中国水産学会の代表者を招聘
 - b) 第 148 回アメリカ水産学会大会（2018 年 8 月 19 日～23 日，アメリカ・ニュージャージー）への代表者及び委員の派遣
 - c) イギリス諸島水産学会（2018 年 7 月 9 日～13 日，イギリス・ノーフォーク）への代表者及び委員の派遣
 - d) 韓国水産科学会大会への代表者及び委員の派遣
 - e) 中国水産学会大会への代表者及び委員の派遣
 - f) アメリカ水産学会，イギリス諸島水産学会，韓国水産科学会及び中国水産学会との学術雑誌の交換
 - g) 国際交流懇談会の開催（2018 年 3 月予定）
 - h) アジア水産学会大会及び評議員会への評議員の派遣
 - i) 世界水産学協議会（WCFS）へ代表者の派遣
 - j) 協力可能な水産専門家リストの更新等 FAO との連携
 - k) 年次総会の案内等 PICES との連携
 - l) JICA，若手会員に対するインターンシップ，海外水産関係大会の参加，学術調査への協力等水産教育プログラムの推進
 - m) その他，文献交換の斡旋，外国人研究者との交流等海外との学術交流に関する事業
- (8) ベルソープックス刊行への協力
- (9) 水産技術誌の監修
- a) 水産分野の技術者，研究者，事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し，定期的に刊行する和文誌「水産技術」を監修する。
- (10) 第 37 回『海とさかな』自由研究・作品コンクールへの協力
- a) 小学生を対象とした，朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて，募集ポスターやガイドブックの配付，出張講義の講師派遣及び審査員派遣等の協力を行う。
- (11) 水産政策に関連する情報収集及び発信
- a) 漁業関連国際条約に関する情報収集
- (12) 男女共同参画の推進
- a) 男女共同参画学協会連絡会主催シンポジウムへの出席及びポスター展示
 - b) 東京海洋大学女性研究者支援機構との連携
 - c) 第 4 回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査における日本水産学会会員回答の解析及び報告書発行
- (13) 水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進
- (14) 東日本大震災災害復興支援に関する活動
- a) 東日本大震災災害復興支援検討特別委員会での審議に基づく活動を行う。
- (15) その他

4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款第 4 条 1 項 4 号に定める事業）

- (1) 日本水産学会における賞の授与
- 学会賞授賞規程に基づき，以下の賞を授与する。
- a) 日本水産学会賞
 - b) 日本水産学会功績賞
 - c) 水産学進歩賞
 - d) 水産学奨励賞
 - e) 水産学技術賞
- (2) 日本水産学会論文賞の授与
- 論文賞授賞規程に基づき，日本水産学会論文賞を授与する。
- (3) 各支部・委員会等における表彰
- a) 北海道支部
 - 最優秀講演賞
 - 最優秀学生賞
 - b) 東北支部
 - 東北支部長賞
 - 水産・海洋系高等学校生徒研究発表大会における支部長奨励賞
 - c) 関東支部

春季大会高校生による研究発表会における表彰

d) 中部支部

支部長賞

優秀発表賞

e) 近畿支部

優秀発表賞

f) 中国・四国支部

優秀発表賞

ポスター発表賞

g) 九州支部

支部長賞

学生優秀発表賞

高校生による優秀研究発表

h) 漁業懇話会委員会

漁業懇話会奨励賞

i) その他

(4) 「海とさかな」自由研究・作品コンクールにおける日本水産学会会長賞の授与

(5) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業 2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の刊行ならびにインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行う。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第4条1項2号に定める事業）

(1) 学会誌の刊行

a) 日本水産学会誌第84巻2号～第85巻1号まで計6冊[報文65編, 総説, 企画記事, 会告, 会報等総ページ約1,300ページ(各号4,000部刊行予定)]

b) 日本水産学会誌第84巻特別号(日本水産学会85年史(仮))の刊行

c) Fisheries Science 第84巻2号～第85巻1号まで計6冊[報文120編, 総説等総ページ約1,200ページ(各号250部刊行予定)]

(2) 水産学シリーズの電子書籍化

a) 第100号～第150号の電子書籍化

(3) 英文書籍 Fisheries Science Series の刊行

(4) 日本水産学会誌のJ-STAGE上における公開